

令和3年4月発行 第236号



みどりのアスparaガス

北広島市しょうがい児者を持つ親の会
発行責任者 加藤裕子

<http://oyanokai.sunnyday.jp/>

ご挨拶・・・あらためまして

会長 加藤裕子

皆さま、平素より、会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。残念ながら、昨年来の新型コロナウイルス感染症は、縮小傾向が見られたかと思うと増大され、今や蔓延への拡大となっています。個々の日常生活での感染予防対策の励行、活動の自粛・自制を要することが続き、調整と工夫を繰り返す中、我慢することが何かと多くなっている日々で、皆さま、疲労に耐えて奮闘しておられることと思います。この状況が一日も早く収束されることを願うばかりです。

目下の関心事の多くは、東京オリンピックの開催の是非でしょうか？聖火が、迷走とならなければ良いのですが、さて・・・どうなるのでしょうか。

定期総会も、昨年に引き続き開催を中止し書面議決という形をとらせていただきました。ご協力ありがとうございました。

明日のことはわからないという状況が続くなか、4月の青空会については開催できる方向で、話し合いを進めて来ました。

よろしくお願い致します。



今年度は、会員数がさらに1名減で、27名でのスタートとなりました。

「役員のみならず手が足りない。係活動のチーフのみならず手が足りない。けれど会は存続させたい。」という状況は変わりません。継続するコロナ禍での会の活動をどう進めていくか、事業のあり方も、考えていかなくてはならない時期に来ているとも言えます。

コロナ禍であろうが何であろうが、私たちの子どもたちは、泣いたり笑ったりしながら成長しています。まずは、自らと家族を感染症から守り抜きましょう。

我が子とともに年齢を重ね、我が子とともに必死に進む親たちが、元気になれるような会でありたいと考えています。集う機会を持つことも困難な現在ですが、我が子のために学び語り合いたいとの思いは変わりません。手段を検討しながら、疑問や確信、不安や希望、怒りも喜びも諸々まとめて積み上げていける親の会でありたいと考えていますので、皆さま、どうか是非お知恵とお力をお貸しください。よろしくお願い致します。

令和 2 年度総会報告・役員紹介

令和 2 年度総会も、書面での議決とし、令和 3 年 3 月 25 日までに書面表決書をご提出いただきました。すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

令和 3 年度役員



会長	加藤
副会長	斉藤・中川
会計	岡本
知的部長	中川（兼務）
自閉症・発達障がい部長	仲上
肢体部長	井上
会計監査	葛西・山崎

どうぞよろしくお願い致します。



全国手をつなぐ育成会連合会の動き

新型コロナウイルス感染症の ワクチン接種について要望を提出



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が本格的にスタートすることを受け、全国手をつなぐ育成会連合会では知的障害者に関係する事項について厚生労働省へ要望書を提出しました。

主に、重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種、障害福祉サービス事業所などにおける集団接種の実施、接種に関する本人意思確認の支援について対応を求める内容となっています。

※全国手をつなぐ育成会連合会HPより要望書文面のみ抜粋し掲載します※

1 重症化リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種 本会としても、現時点の知見により、知的障害であること自体は新型コロナの重症化 リスク要因ではないことを理解しております。しかし、当然ながら一定数は重症化リスクのある基礎疾患を有する人もいますし、重度重複障害児者についてはそもそも基礎体力が十分でなく、感染症全般に大きなリスクを有しているといえます。こうした重症化 リスクのある基礎疾患を有する人などへの確実な優先接種を地方自治体へ改めて通達 してください。また、重度知的障害児者の中には、接種後の副反応について自ら異常を訴えることが できない人も多くいます。そのため、身近なかかりつけ医にも、副反応等の情報を的確 に情報提供していただくよう、お願い申し上げます。

2 障害福祉サービス事業所などにおける集団接種の実施 貴省のホームページによると、ワクチン接種には大きく地方自治体の指定する会場で の集団接種、指定医療機関での個別接種が例示されています。しかし、知的障害や発達 障害（自閉症圏）の人がスムーズに接種するためには、慣れた施設や医療機関での対応 が重要と考えます。接種場所については柔軟に対応するよう、地方自治体へ通知してく ださい。また、障害福祉サービス事業所や障害者支援施設単位で接種可能とする場合には、当該事業所等利用者のうち、接種順位が最も高い人へタイミングを合わせていただきますよう、あわせて通知してください。

3 接種に関する本人意思確認の支援 知的障害児者にとっては、新型コロナそのものがどういった感染症であるか理解しにくいことに加え、ワクチンの接種にはどのような効果と副反応が想定され、なぜ期間を あけて2回接種する必要があるのかなど、ワクチン接種に関する分かりにくさも想定されます。さらに、ワクチン接種を希望するか否かについて、本人の意向を確認するための支援が必要な人が多いことにも十分留意する必要があります。 田村厚生労働大臣も、国会において「国民にしっかりと情報提供したうえで、本人の 意思に基づき」接種の是非について判断することが重要である旨を答弁していることを 踏まえて、次の2点について早急な対応をお願いいたします。（1）ワクチンの接種による効果と副反応（特に重篤な副反応が起こりやすい状況、てんかん発作との関係性、アレルギーの有無など）、期間をあけて2回接種する必要性などを、知的障害児者に分かりやすく情報提供するリーフレットなどを作成し、 広く周知してください。知的障害児者だけでなく、子どもや国外にルーツを持つ人 たちへの情報提供としても有効と考えます。（2）分かりやすい情報提供を基礎として、障害福祉サービス事業所等において浸透しつつある意思決定支援の取組みを最大限に活用し、ワクチン接種の希望については 可能な限り丁寧に本人の意思を確認する取組みを徹底してください。 以上



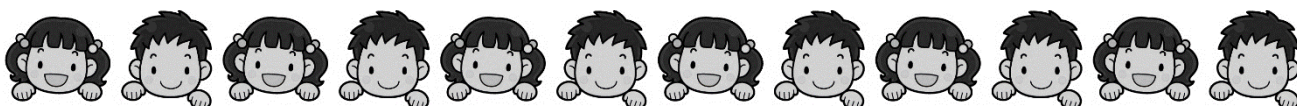
賛助会員のご協力をお願い

北広島市しょうがい児者を持つ親の会の活動に、ご理解・ご協力をいただける、賛助会員のご入会を随時受け付けております。どなたでも、何口からでも構いません。

賛助会員入会後は、ご希望の方には会報誌を発送させていただきます。また、当会の企画の講演会等は会員価格でご参加いただけます。

賛助会費：一口500円

※ホームページの入会フォームよりお手続きいただくか、担当岡本（373-0677）までご連絡ください。どうぞよろしくお願い致します。



【今年度の事業担当者】

研修事業	■■■■■ ■■■■■
新年会・ 成人を祝う会	■■■■■ ■■■■■
余暇支援活動	■■■■■ ■■■■■)
世界自閉症 啓発デー	■■■■■ ■■■■■

★みどりのアスパラガス作成担当

斉藤・中川・佐藤■■■・井上■■■



【活動報告】

3月 5日	会計監査（浮田・葛西・加藤 岡本）
3月 8日	議案書印刷・発送（斉藤・岡本 仲上）
3月 18日	自立支援協議会生活部会 ZOOM会議（斉藤）
3月 25日	役員会
3月 26日	自立支援協議会子供部会 ZOOM会議（加藤）
4月 1日	世界自閉症啓発デー会場準備 （斉藤・仲上・岡本・國岡）
4月 2日～8日	世界自閉症啓発デーin 北広島 ～啓発パネル展～



〽啓発パネル展〽
北広島市役所5F
市民ギャラリーにて

青空会の日程 (定例会)



〈場所〉中央公民館
1F 研修室

〈時間〉10:00～12:00

6月 10日（木）

8月 5日（木）

10月 14日（木）

12月 9日（木）

2月 10日（木）

※8月のみ第1週目とな
っております。

※見学希望の方についても
事前にご連絡をいただけれ
ば、ご参加いただけます。

令和3年度 会費納入のお願い

- ・年会費 6,000 円
- ・会費は、1年分の前納制とし、6月末までに
青空会、または、振込みにて納入して下さい。
ただし、中途入会者は、入会月から 3 月まで
の月数分の会費となります。
- ・会費に関するご相談は、会計までお願いし
ます。

【お振込先口座】

北海道銀行 北広島支店

(普)115-0431123

北広島市しょうがい児者を持つ親の会

代表 加藤 裕子

この会報は、会の趣旨に賛同下さる方々に、私たちの活
動を広く紹介する目的で発行しています。ほかの目的に
使用しないよう、また、破棄する場合は取り扱いにご注
意下さるようお願いいたします。

会報担当【中川■■■ 斉藤■■■ 佐藤■■■ 井上■■■】